

通 告 質 問 一 覧 表

(平成28年6月定例市議会)

順 位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
1	6	8 番 内 田 大 治	<p>1 健康づくり事業について</p> <p>(1) 平成26年3月「第2次すこやかプラン21」を策定し、健寿の里たかはしを目指し施策を展開しているが、現状をどのように認識しているのか</p> <p>① 検診の受診率と有所見者に対する対応をどのように把握しているのか</p> <p>② 受診するために会場まで行くことが困難な人の送迎は考えられないか</p> <p>③ 健康寿命の延伸を目指しているが、本市の現状について問う</p> <p>④ 健康寿命の延伸のため、どのような事業に取り組んでいるのか</p> <p>⑤ 地域に出向いて健康指導を行っているが、その成果について問う</p> <p>2 地域コミュニティ、町内会組織について</p> <p>(1) 少子高齢化、人口減少によって地域コミュニティの各種行事、地域の歴史、文化の継承が困難になっている。これを解決し希望が持てる地域づくりの方策は考えられないか</p> <p>(2) 行政の末端である町内会組織の維持が困難になっている。行政主導により町内会の統合、再編に取り組むべきではないか</p> <p>(3) 町内会の中にある「閉塞感」や「困りごと」に対応するため、新たな制度の導入が必要ではないか</p>
2	8	16 番 宮 田 公 人	<p>1 全国学力・学習状況調査結果を子供たちの学力向上と学習状況改善に向けてどのように生かしていくのか</p> <p>(1) 全国学力・学習状況調査について、高梁市の状況をどのように分析しているのか示すこと</p> <p>(2) 高梁市の小学校及び中学校の出題に対する正答数の分布はどうなっているのか示すこと</p> <p>(3) 学力向上と学習状況改善に向けた教育委員会の取り組みについて示すこと</p> <p>(4) 各校の個別の取り組みについて、どのような対応を行っているのか示すこと</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
2	8	16 番 宮 田 公 人	<p>2 幼稚園の預かり保育の時間延長について</p> <p>(1) 保護者のライフスタイルの変化によって、幼稚園よりも保育園が選択される傾向にある。特に郡部においては、幼稚園の預かり保育時間を現行の午後5時半から午後6時まで延長することができれば、保護者に選択の幅を与えることができると思うが、教育委員会の考え方を示すこと</p> <p>3 ごみ焼却施設の現状と更新に向けた今後の方針について</p> <p>(1) 高梁市のごみ処理の現状をどのように捉えているのか示すこと</p> <p>(2) ごみ焼却施設の更新は以前からの課題であるが、新総合計画後期基本計画にも明記されていない。新しい施設の整備方針、建設場所、規模、財源という観点から、今後の方針を示すこと</p> <p>(3) 市民に対して、ごみ処理の現状をいかに周知していくのか。今後の方針を示すこと</p> <p>4 旧「ゆ・ら・ら」と周辺施設との相乗効果を生かした神原スポーツ公園エリアの再生について</p> <p>(1) 旧「ゆ・ら・ら」については、神原スポーツ公園や公共の宿「神原荘」の利用者データを示しながら、宿泊機能を付加する形で周辺施設との相乗効果を生かした再生を提案してきたが、これまでの答弁も踏まえて、市長の考え方を示すこと</p>
3	5	5 番 三 村 靖 行	<p>1 公共交通について</p> <p>(1) 川面、巨瀬、中井地区の生活福祉バスは本格運行開始から半年を経過したが、利用率が非常に低い。その状況を把握しているのか問う</p> <p>① 利用率が非常に低いその理由は何か</p> <p>② 今後、運行計画を見直すことは可能か。見直すとなれば、時期はいつごろか問う</p> <p>2 吉備国際大学との連携について</p> <p>(1) 高梁市新総合計画後期基本計画において「学園文化都市の推進」を掲げ、学生との交流や支援など官民で取り組んでいる。市では、新たに大学連携室を設置して学生の確保を初めとする大学との連携事業を実施しているが、その内容について問う</p> <p>① 学生数の推移はピーク時から現在までどうなっているのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
3	5	5 番 三 村 靖 行	<p>② 学生数の減少をどのように捉えているのか</p> <p>③ 大学とどのような連携を図っているのか</p> <p>④ 大学連携室の設置前と後では施策の変化はあったのか</p> <p>⑤ 学生確保のために実施している施策、事業はあるのか。 また、その効果はどうか</p> <p>⑥ 今後実施しようと計画している施策、事業はあるのか</p> <p>⑦ 学生確保のために入学実績のある高等学校へ大学とともに、高梁市の教育環境の良さ、大学の魅力などを説明 に向いてはどうか</p> <p>3 高齢者対策について</p> <p>(1) 本市の高齢化率は約 40%であり、一人暮らしの高齢者は平成 26 年 6 月で 2,044 人となっている。「安心・安全なまちづくり」から、民間企業と連携して安否確認を行う「見守り協定」について問う</p> <p>① 本市では交通の不便な高齢者の暮らしに密着したサービスをされている J A、郵便局、生協と協定を締結することは可能であるか問う</p> <p>② 県内の他市町村での協定状況はどうか。協定内容はどうか問う</p> <p>③ 実施するとしたら、どれくらいの費用、準備期間がかかるのか問う</p>
4	7	1 番 石 井 聡 美	<p>1 定住対策について</p> <p>(1) 定住対策にも、子育て施策のような段階に応じた一体型のサービスを導入すべきではないか。家探しだけでなく、引っ越しやその後の手続きなど、初めて高梁市に住む人たちが困らないような、切れ目のないサポートをすべきではないか</p> <p>(2) 市営住宅の一部を家具つきのお試し住宅としてはどうか。せっかく高梁市に興味を持って見に来て、それきりになってしまう人も。気軽に高梁市を体験できるように、各地域にある市営住宅の空き部屋をその地域のお試し住宅として短期に貸し出せないか</p> <p>(3) 空き家を高梁市が借り上げてリフォームし、賃貸住宅として貸し出してはどうか。賃貸の収入で、リフォームにかかった経費を償還していけるのではないか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
4	7	1 番 石 井 聡 美	<p>2 雇用対策について</p> <p>(1) 働く場所の近くに住む場所がない場合、そのエリアに新しい住宅を建てるよりも、市内にある既存の賃貸物件や空き家を利用しやすくなるよう、公共交通網を充実させるべきではないか</p> <p>3 教育の I C T 化について</p> <p>(1) 少人数校に不足している多様性を確保するために、各校に W i - F i を整備して、学校を超えた生徒の交流を進めるべきではないか</p> <p>(2) 新総合計画後期基本計画やまち・ひと・しごと総合戦略では、児童・生徒用タブレット型パソコンを整備することになっているが、今後求められる P C リテラシーを育成するためにはノートパソコンを整備すべきではないか</p>
5	1 1	2 番 石 田 芳 生	<p>1 防災情報の伝達手段について</p> <p>(1) 高梁の市街地では本庁舎にサイレンが設置されているが、どのように運用されているのか</p> <p>(2) 地域の特性に応じた防災対策や施設整備が必要であると思うがどうか</p> <p>(3) 防災ラジオで使用する 280 メガヘルツの電波の免許はごく限られた民間企業が有しているのみであるが、運用が民間企業の倒産などに左右されることはないのか</p> <p>2 住宅リフォーム、空き家活用の補助金、助成金について</p> <p>(1) 本年度の高梁市住宅リフォーム事業費補助金、高梁市定住促進空き家活用事業助成金の受付状況はどうなっているのか</p> <p>(2) 利用者に対する周知は十分にできているのか</p> <p>(3) 経済効果が大きく民間需要の掘り起こしにもなる制度であると思うが、利用しやすい制度とするためにさらに工夫し、十分な財政措置を講ずるべきではないか</p> <p>3 学校統合について</p> <p>(1) 平成 27 年度、中学校区単位で小中学校 P T A と意見交換をした後、市内の中学校のあり方についてはどのような方針を立てたのか</p> <p>(2) 平成 27 年 12 月議会の学校統合の方針に関する答弁に変更はないのか</p> <p>(3) 保護者及び地域住民の理解や同意を得るためにどのような対応をしているのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
5	11	2番 石 田 芳 生	(4) 教育委員会が主導性をもって取り組むとされているが、その前提には教育委員会と保護者、地域住民との間に信頼関係がなければならないのではないかと
6	3	19番 難 波 英 夫	<p>1 市民の暮らしを守るため国にはっきり物を言う市政について</p> <p>(1) 日本共産党が市民アンケートをまとめた中で、市民の立場で国や県に物を言うことについて「市単独でもキッパリと言うべきだ」が85%ありました。市長はこの声にどう答えられますか</p> <p>(2) 市民の暮らしに大きな影響を及ぼす次のことについての見解を求めます。また、国に対して意見、要望を行うよう求めます</p> <p>① 消費税増税は中止を求めること</p> <p>② 年金の削減をやめること</p> <p>③ TPP協定からの撤退を求めること</p> <p>④ 安保法制（戦争法）の廃止を求めること</p> <p>⑤ マイナンバー制度は廃止すること</p> <p>2 2015年農林業センサスの結果と本市農業の発展について</p> <p>(1) センサスの結果から本市農業の現状をどのように分析されますか</p> <p>(2) 本市農業をどのように発展させますか</p> <p>3 新たに選挙権を得た学生や高校生などの投票率向上を図る対策について</p> <p>(1) 市内の大学や高校へ投票所設置はできないか</p> <p>(2) 選挙人名簿に登録されている市町村以外で投票する制度を活用して投票できることの周知徹底を図ること</p> <p>(3) 学生、高校生の政治学習や活動について、市として何か支援できることはないか</p>
7	10	7番 大 森 一 生	<p>1 今の行政に求められる公共経営論とリーダーシップ論について</p> <p>(1) 急激な人口減少、少子高齢化、そしてそれに伴う経済縮小など、私たちを取り巻く環境は非常に厳しい。そのような状況の中、合併後10年の月日が経過し、次々と新図書館を核にした駅前周辺などの大型公共インフラ整備が進められている。近藤市長の目指す公共経営とは何か。また、市長の描く本市の未来像とはどのようなものなのかを「公正性」、「教育」、「繁栄（持続可能性）」、「健康（スポーツと福祉）」の大きな4つの視点から聞く</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
7	10	7番 大 森 一 生	<p>(2) 地域創生には市民参加、協働のまちづくりが大きなキーワードとなる。前例にとられることのない、縮小社会、人口減少に対応したまちづくりが求められていると思うが、どのように考えているのか。また、市民参加は自治体の行政評価や運営に大きくかかわってきている。その手法について聞く</p> <p>(3) 市民との協働のまちづくりを考えると、市民の期待と不安の双方に配慮する必要があると思うが、どのように思われているのか。また、旧「ゆ・ら・ら」、新図書館と複合施設、佐与谷川上流などの産廃問題、学校統廃合などの教育問題、災害に対応したまちづくりなど市が抱えている問題は多岐にわたっている。どのように対応されているのか。また、今後どのような方向へ進めていくのか聞く</p>
8	2	6番 森 田 仲 一	<p>1 農業振興について</p> <p>(1) 6次産業化を進め、特色ある地域農業を確立すべきと考えるがどうか</p> <p>(2) 遊休公共施設の活用及び遊休民間施設の借り上げにより農林産物の加工施設を設置し、農業者の活力創出、さらに農業所得向上につなげる施策を展開してはどうか</p> <p>(3) 貸出農林作業機械の現状と今後について問う</p> <p>2 観光振興について</p> <p>(1) 平成22年に歴史まちづくり法に基づく「高梁市歴史的風致維持向上計画」が認定され、旧吹屋小学校校舎保存修理事業が進んでいるが、そのほかの事業の進捗状況を問う</p> <p>(2) 以前紺屋川沿いの桜並木更新を提案したが、その後どうなっているのか</p> <p>(3) 先般、市内団体が公開講演会として実施された「明治日本の産業革命遺産」世界遺産登録の歩みの中で、吉岡銅山と関連遺産を産業遺産として登録してはどうかとの話があった。前回の一般質問でも提案したが、再度考え方を問う</p>
9	4	9番 宮 田 好 夫	<p>1 災害から身を守るために</p> <p>(1) 自主防災組織について</p> <p>① 組織率はどのようになっているのか</p> <p>② 風水害や地震などにも対応できる組織づくりは進んでいるのか</p> <p>③ 講習や訓練はどのように行われているのか</p> <p>④ リーダーの育成は行われているのか</p> <p>⑤ 活動中の事故に対する保障はあるのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
9	4	9 番 宮 田 好 夫	<p>(2) 災害弱者への対応について</p> <p>① 災害時要援護者の登録状況について</p> <p>② 災害時に登録名簿をどのように活用するのか</p> <p>③ 介護保険施設、障害者支援施設が被災した場合の受け皿はどのようになっているのか</p> <p>(3) 避難所について</p> <p>① 避難所の安全（地震、暴風雨、水害）は確保されているのか</p> <p>② 毛布や食料などの必需品はどのくらいの数量をどこに備蓄しているのか</p> <p>(4) 情報伝達手段について</p> <p>① 防災ラジオ整備事業の進捗状況はどうか</p> <p>② 高齢者世帯や要援護者には、防災ラジオを無料で貸し出すことを考えてもいいのではないかと</p> <p>2 新図書館について</p> <p>(1) オープンに向けた進捗状況はどうか</p> <p>(2) 図書館協議会、図書館運営等研究委員会との調整はどのようにしているのか</p> <p>(3) 図書館長の人選は進んでいるのか。司書やスタッフの準備は進んでいるのか。現在の図書館職員の身分はどうなるのか。</p> <p>(4) 複合施設スケジュール(案)では平成 27 年度に約 1 万冊、今年度に約 1 万冊購入するとある。どのように選書し、どこから購入するのか</p> <p>(5) 駐車場、駐輪場はどのようになっているのか</p> <p>(6) 現在の図書館の用途はどのようになるのか</p> <p>3 環境保全について</p> <p>(1) 佐与谷川上流に産業廃棄物最終処分場が完成している。この地域を高梁市水道水源保護条例に基づく水道水源保護地域に指定するべきではないかと</p>
10	1	10 番 小 林 重 樹	<p>1 山田方谷先生の顕彰と観光について</p> <p>(1) 教育的立場から見た山田方谷先生の事業はどのようなものがあるか</p> <p>(2) 観光行政の立場から見た山田方谷先生の事業について</p> <p>(3) 教育と観光をコラボレーションした総合的な事業及び施策を考えているのか。もしあれば、その内容とはどのようなものなのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
10	1	10番 小林重樹	<p>2 高梁市の将来の展望と新総合計画後期基本計画について</p> <p>(1) 10年先の高梁市を見据えて、後期基本計画で横断的、重点的に取り組む重点プロジェクトを3つ掲げ推進していくとしているが、これら3つのプロジェクトの具体的な事業、施策を問う</p> <p>① 定住促進プロジェクトについて</p> <p>② 人づくりプロジェクトについて</p> <p>③ 雇用対策プロジェクトについて</p> <p>(2) 市長はさきの3月議会において引き続き市政を担っていきたい旨を表明されたが、後期基本計画の中で最重要課題として優先する施策は何か</p> <p>(3) 高梁市の将来のあるべき姿（未来像）をどのように描いているのか</p>
11	12	12番 川上修一	<p>1 学校統合について</p> <p>(1) 地元合意がなされていないことについて考えを問う</p> <p>(2) 教育委員会が言われている「より良い教育」とは何か</p> <p>(3) 答えを出せる人がなぜ懇談会に出席しなかったのか</p> <p>(4) 懇談会で質問を持ち帰っているが、その答えはどうなっているか。また、いつ答えを出されるのか</p> <p>(5) 統合することになった場合の詳細な協議が中学校の保護者と一切行われていないが、どのようにされるのか。また、協議が合意に至らなかった場合はどのようにされるのか</p> <p>(6) 周辺地域における定住対策からすると大きく相反することになると思うが、どのように考えているのか</p>
12	13	3番 石部 誠	<p>1 備中中学校の統合について</p> <p>(1) 地元合意は取れているのか</p> <p>(2) 今までの経過と認識について</p> <p>2 高梁市図書館について</p> <p>(1) 新図書館建設と指定管理の進捗状況について</p> <p>(2) 駅の待合、トイレ、エレベーター、駐車場などの問題点を指摘してきたが、改善はされるのか</p> <p>(3) 自治体の政策や行政課題に対して、本来の図書館が果たすべき役割を担えるのか</p> <p>(4) 図書館長の役割と任命について</p> <p>(5) 図書館協議会、図書館運営等研究委員会の活動内容と今後について</p> <p>(6) 住民、利用者の図書館運営への参加と市民ボランティアの活動支援について</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
1 2	1 3	3 番 石 部 誠	<p>(7) 指定管理の状況は公開されるのか</p> <p>(8) 約2億円の空間設計という契約の内容と手法について</p> <p>3 宇治高校、松山高校の今後の発展について</p> <p>(1) 各校の現在の状況と今後の発展方向は</p> <p>(2) それぞれの校風を生かした積極的運営を行うことが必要ではないか</p> <p>4 三菱自動車関連事業者と従業員の支援について</p> <p>(1) 高梁市にも関連企業があるが、事業者や従業員の支援を行うべきではないか。また、相談窓口を開設したらどうか</p>
1 3	9	4 番 黒 川 康 司	<p>1 市道、農林道の修繕等要望について</p> <p>(1) 現在まで市内各地からの市道、農林道の修繕及び改良の要望書が提出されていると思うが、その件数とそのうち処理した件数及び費用額を問う</p> <p>(2) 未実施の箇所については、どのように整理しているのか問う</p> <p>2 町内会の維持について</p> <p>(1) 市内に698町内会があり、そのうち6割が10戸以下、さらに全体の11%に当たる79町内会が5戸以下の戸数となっており、高齢化と相まって従来から行っている町内活動ができにくい状況にある。このため、地域資源の管理や生活環境の保全などを各集落が担いつつ、福祉や防災、交流活動など近隣集落と連携することで機能強化を図る新たな仕組みと支援策を構築していくと3月議会で市長が所信を述べられたが、具体的内容を問う</p>